

した通りですから、将来の専攻も決まってい
ない、図書館利用に不慣れな 1, 2 回生は書架に
並ぶ本を見てうろうろするばかり。図書館職員
も彼らにどのような利用指導をしたらいもの
か戸惑うばかり。

2 つ目は利用者の大幅な増加と多様化です。
すべての学部で大学院の重点化が終了し、また
独立大学院もいくつか設置され、大学院生の数
が一挙に膨れ上がりました。それと併せて利用
者数を押し上げているのが一般市民も含めた学
外からの利用者の増加です。これは、オンライ
ン目録への登録が進み、学術情報センターの
Webcat により全国の大学図書館の所蔵状況が
容易に把握できるようになったことが大きいで
しょう。これら全国からやってくる利用者に資
料を提供することはもちろん、参考業務、そし
て利用指導に至るまで既存の施設や人員ではと
うてい対処できないほど業務量が増えています。

これらの点について、現在の段階では十分な対
応ができているとは言えません。いかにマン
パワーと予算の不足は否めません。十分な予
算措置と人的配置が切に望まれるところです。

しかし、大学教育の発展に従って、そのため
の蔵書構成は変容せざるを得ないでしょうし、
蔵書の分担配置も変えていかざるを得ないで
しょう。すでにいくつかの部局図書室（館）は
学生用図書費を確保したり、学部生向けサービ
スについて工夫をしているところもあります。
また相互協力、生涯教育の観点から学外の求め
にもできる限り応じていくのも図書館としての
務めでしょう。

次号から各部局図書室（館）をご紹介します。
まず最初は総合人間学部図書館です。
京都大学の部局図書室（館）を利用者が有効に
利用する一助となることを願っています。

（電子情報掛 後藤慶太）

OPAC を使ってみませんか

OPAC はコンピュータを利用した蔵書目録で
す。オパック（オーパック）と呼んでいます。
京都大学で所蔵している図書・雑誌のうちコン
ピュータに入力されているものが検索できます。
研究室・自宅のパーソナルコンピュータからイ
ンターネット経由で利用できます。
内容は同じです。利用しやすいほうを利用して
ください。

Web 版の OPAC は附属図書館のホームページ
から利用できます。

附属図書館のホームページは以下のとおりです。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp>

telnet 版の OPAC は下記のホストに接続してく
ださい。

<Kensaku.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp>

Login: が表示されたら opac と入力、password:
が表示されたら opac と入力してください。

京都大学のすべての蔵書がコンピュータに入力
されているわけではありません。附属図書館の
カード目録も検索してください。

（薬学部図書掛長 渡邊 誠）

Online
Public
Access
Catalog

OPAC には
Web 版と
telnet 版が
あります。

